

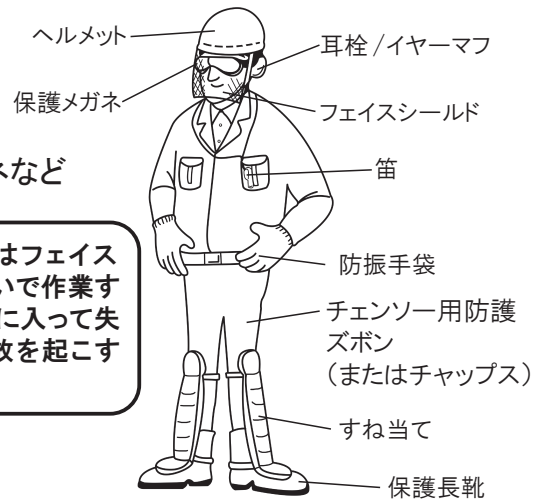
[安全作業]

1. 作業の服装と防護具

図のような各種防護具を着用してください。目を保護する保護メガネなども必ず使用してください。

- ①ヘルメット（保安規格適合品）
- ②保護メガネまたはフェイスシールド
- ③滑りにくく丈夫な防振手袋
- ④滑りにくく丈夫な保護長靴
- ⑤耳栓またはイヤーマフなどの防音保護具
- ⑥脚を保護するチェーンソー用防護ズボンやチャップス（切創防止用）

保護メガネもしくはフェイスシールドを着けないで作業すると、飛散物が目に入って失明などの重大事故を起こす危険があります。

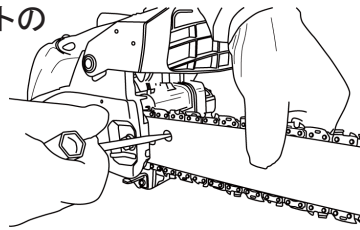


2. 使用前のチェック

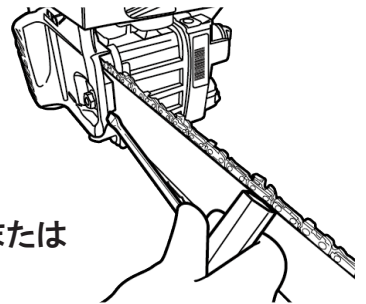
機体の各部を点検し、異常がないことを確かめてください。

特に次のような異常は放置すると危険ですので使用を中止し速やかに整備してください。

- ①ソーチェーンのゆるみ、異常摩耗
- ②カッター切れ味不良
- ③ガイドバーの異常摩耗、曲がり、先端スプロケットの回転不良（スプロケットノーズバー使用時）
- ④ガイドバー取付ナットのゆるみ
- ⑤ハンドルの変形、破損
- ⑥ハンドル取付部のゆるみ、破損
- ⑦防振ゴムのはがれ、亀裂
- ⑧マフラー、ソーチェーン駆動部周りの木屑堆積
- ⑨燃料漏れ

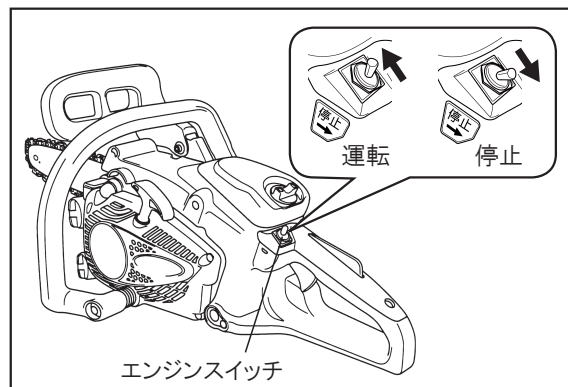
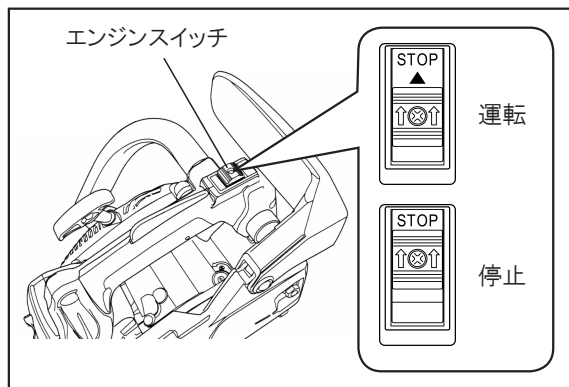


または



3. エンジン始動時の注意

- エンジンの始動操作は単独で、周囲に人や障害物がないことを確かめてから行ってください。
- エンジンスイッチが、運転となっていることを確かめてください。
- エンジン始動後は、チェーンオイルが適切に吐出されていることを確認してください。



4. 健康維持への配慮

連続作業は、疲労による事故の原因になります。1回の連続作業を10分以内とし、作業後は休憩を取ってください。1日の作業時間は2時間以内にしてください。夏場の作業では熱中症にならないよう、適度な水分補給を行ってください。



[取扱操作]

5. 切り方

排気ガスの方向に可燃物があると火災の恐れがありますので、次の場合は必ずエンジンを停止してください。

- ・作業を中断するとき
- ・製品を置くとき

混合燃料は引火性が高いので、燃料補給時はエンジンを停止してください。

ハシゴの上や不安定な場所での作業はやめてください。

①持ち方

- 必ず作業中は、両手で持って操作してください。
- 片手持ち、腕を伸ばした状態、肩より高い位置では、作業しないでください。

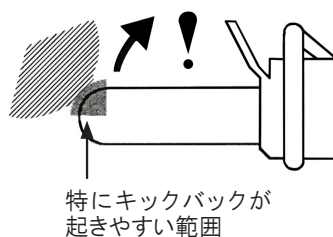


②立ち方

- 両足を開き安定した姿勢で作業を行ってください。
- 左手で前ハンドルを持ち、チェーンは、体の正面右側にくるようにしてください。

③切り方

- スロットル全開で行い、ソーチェンを木材に軽くあて、エンジン回転速度を一定に保つように押付け、力を加減してください。
- キックバックの恐れがありますので、ガイドバーの先端上部 1/4 では、作業しないでください。



特にキックバックが起きやすい範囲

上から下に向かって操作する

6. 燃料の確認

ガソリンだけで運転すると、エンジンが焼き付き故障します。

- 燃料は、無鉛ガソリンに2サイクルエンジンオイル[※]を右記の割合で混合し使用してください。
- 混合燃料は、1回で使い切る量だけ作ってください。1ヶ月以上経過すると揮発したり、腐敗してエンジン故障の原因となります。

燃料混合表

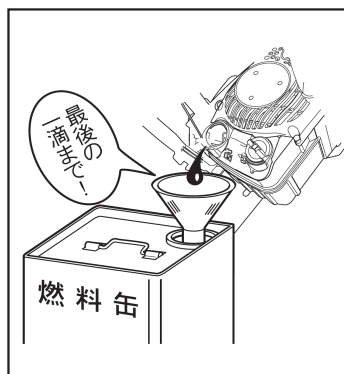
ガソリン	オイル (※)
50	: 1
ガソリン1Lの場合はオイル 20mL	
ガソリン5Lの場合はオイル100mL	

※ 2サイクルエンジンオイルは、JASO 性能分類のFDまたはFC級をお使いください。

7. 作業後のチェック

- 次の使用まで10日間以上ある場合は、タンク・キャブレタ内の燃料を抜き取ってください。
- マフラー周りを点検し、付着している木屑や枯葉を取り除いてください。

タンクから



キャブレタから



必ず取扱説明書をお読みになってからご使用ください。

P/N. 287261-09 2206 IN

 **MARUYAMA**

株式会社丸山製作所

本社 / 東京都千代田区内神田 3-4-15 〒101-0047

<http://www.maruyama.co.jp>

お客様相談窓口<丸山サポートセンター> 無料通話 0120-898-114